

平成26年度

福岡アジア美術館年報

Fukuoka Asian Art Museum Annual Report 2014

目次

■ 展示事業	
1 特別企画展	04
2 小企画展	09
3 コレクション展	09
■ 交流事業	
1 招聘事業	12
2 受入支援事業	15
3 地域交流事業	15
■ 教育普及事業	
1 体験学習、博物館実習等	16
2 とびだせ!アジア美術館	16
■ ミュージアム施策事業	17
■ ボランティア活動	18
■ 広報活動	21
■ 所蔵作品	
1 新所蔵作品	24
2 貸出一覧	26
3 修復一覧	28
4 所蔵品等の掲載一覧	29
■ 入館者数	30
■ 活動記録	33
■ 名簿	36



展示事業

NTT西日本スペシャル
「おいでよ!絵本ミュージアム2014 ～ふしぎなたび～」



会 期 2014年7月25日(金)～8月17日(日)
 会 場 企画ギャラリー、彫刻ラウンジ、あじびホール
 主 催 福岡アジア美術館、西日本新聞社、TNCテレビ西日本、
 NPO法人子ども文化コミュニティ
 特別協賛 NTT西日本
 協 力 三浦太郎、田島征彦、たむらしげる、なかやみわ、西巻
 茅子、降矢なな、偕成社、学研教育出版、こぐま社、童
 心社、福音館書店、しくみデザイン、入江千春、NTTコ
 ミュニケーション科学基礎研究所、NTTドコモ、(株)
 キッズスター、ホテルオークラ福岡、エフコープ生活協
 同組合、三菱地所アルティウムほか
 後 援 福岡県、福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、(公
 財)福岡市文化芸術振興財団、福岡県私立幼稚園振
 興協会、福岡県国公立幼稚園協会、福岡県PTA連合
 会、福岡市PTA協議会、福岡県子ども会育成連合会、
 福岡県教職員互助会、西日本鉄道、九州旅客鉄道、
 西日本リビング新聞社、cross fm、FM福岡、LOVE
 FM
 開催日数 24日間
 観 覧 者 数 42,019人

今回は「ふしぎなたび」を大きなテーマの軸とし、子ども
 の想像力をかきたてるファンタジー絵本や世代を超え
 て語り継がれてきた古今東西の民話や昔話をモチーフ
 にした会場構成を行った。また、シンプルで洗練された
 デザインで、子どものみならず大人のファンの心もつか
 み、国内外で人気を博している絵本作家三浦太郎氏
 の世界や、子どもたちに人気ののりもの絵本を特集した
 コーナーを展開した。自由に手にとって読むことので
 きる約1,000冊の絵本とともに、絵本の世界が飛び出し
 たような空間を展示した。

NTT西日本グループの協力のもと、デジタルコンテ

ントを盛り込んだ展示体験コーナーも併設し、子どもた
 ちがコミュニケーションの楽しさを体感できるような展示
 を行った。

ポ ス タ ー B2 ファクトリー・エム[松浦佳菜子](デザイン)
 /西日本新聞印刷株式会社(印刷)
 チ ラ シ A3 ファクトリー・エム[松浦佳菜子](デザイン)
 /西日本新聞印刷株式会社(印刷)

関 連 事 業 オープニングスペシャルイベント
 「絵本作家三浦太郎&TNCアナウンサーとのトーク
 ショー」
 出演:三浦太郎(絵本作家)、四位知加子(TNCア
 ナウンサー)
 日時:7月25日(金)11:00～11:30
 会場:彫刻ラウンジ

ライブパフォーマンスショー
 出演:中村俊介(しくみデザイン)
 日時:7月25日(金)11:30～12:00
 会場:彫刻ラウンジ

絵本作家三浦太郎ワークショップ
 「紙をきいたらなんになる!」
 講師:三浦太郎(絵本作家)
 日時:7月25日(金)、26日(土)、27日(日)14:00～
 16:00
 会場:彫刻ラウンジ

アフリカندوقつパラダイス
 講師:藤井るみ子(劇団AFRICA)他
 日時:7月26日(土)11:00～12:00
 会場:彫刻ラウンジ

絵本作家降矢なな講演会
 「子どもとファンタジー～絵本のチカラ～」
 講師:降矢なな(絵本作家)
 日時:7月26日(土)10:30～12:00
 会場:あじびホール

おとのでるえほんをつくらう!
 「Paintone Workshop」
 講師:中村俊介(しくみデザイン)+しくみデザインス
 タッフ
 日時:7月27日(日)10:30～12:00
 会場:彫刻ラウンジ

絵本ワークショップ
 講師:子ども文化コミュニティスタッフ
 日時:7月28日(月)～8月1日(金)11:00～12:00、
 13:00～14:00、15:00～16:00
 会場:彫刻ラウンジ

□NTTグループ光だんらんTV遠隔地交流
(絵本ミュージアム展あじびースノーマンの世界展三
菱地所アルティウム)
出演:あじび側(TNCアナウンサー)、三菱地所アル
ティウム側(笠井、スノーマン)
日時:8月1日(金) 11:30~12:00、13:00~13:30
会場:彫刻ラウンジ

□キッズスター
「うちのテレビで絵本の読み聞かせを楽しもう!」
講師:松本健太郎(キッズスター)
日時:8月2日(土)11:00~11:30、
3日(日)10:30~11:00
会場:彫刻ラウンジ

□絵本作家西巻茅子講演会
「子ども絵本ーわたし」
講師:西巻茅子(絵本作家)
日時:8月3日(日)10:30~12:00
会場:あじびホール

□ふしぎなパレード
「おうさま、おひめさまになってでかけよう!」
講師:子ども文化コミュニティスタッフ
日時:8月3日(日)13:00~15:00
会場:彫刻ラウンジ

□NTTグループハートビートプロジェクト
「心臓ピクニック」
講師:渡邊淳司(NTTコミュニケーション科学基礎研
究所)
日時:8月7日(木)4回開催
会場:彫刻ラウンジ

□Kids MAT 特別編 展覧会と建築をめぐるツアー
「時代をさかのぼる旅にしよう!」
日時:8月9日(土)、10日(日)9:30~12:30
会場:絵本ミュージアム会場・三菱地所アルティウム
(イムズ8F)・福岡市赤煉瓦文化館ほか
協力:NPO法人福岡建築ファウンデーション

□演奏会
「えほんとおとの世界」
出演:永山マキ(ボーカル)&イシイタカユキ(ギター)
日時:8月10日(日)11:00~12:00
会場:彫刻ラウンジ

□うごくえほんをつくろう!
講師:原田康徳(NTTコミュニケーション科学基礎研
究所)
日時:8月12日(火)~13日(水)13:00~16:00
会場:彫刻ラウンジ

□ダンス・ワークショップ
「うごきだす絵本 11ぴきのねこ」
講師:神崎由布子(舞踊家、振付家)
日時:8月13日(水)~8月17日(日)13:00~16:00
会場:あじびホール

□もくねんさん
「ジュースの糖度実験」
提供:エフコープ生活協同組合
日時:8月14日(木)~16日(土)10:00~17:00
会場:彫刻ラウンジ

□ワークショップ
「KOO=KI カンパッチをつくろう」
講師:Mr. Shapeほか空気スタッフ
日時:8月17日(日)10:30~11:30、12:00~13:00
会場:彫刻ラウンジ

□絵本の読み聞かせ
出演:TNCアナウンサー(山口喜久一郎、新垣泉子、
四位知加子)
日時:毎週金曜 11:00~、13:00~
会場:ラウンジM8

関連記事

- 2014.06.12 西日本新聞(朝)「おいでよ!絵本ミュージアム 物語の
世界を旅しよう」
- 2014.07.12 西日本新聞(夕)「お話の世界を旅しよう 25日から福岡
アジア美術館」
- 2014.07.22 西日本新聞(朝)「イベント多彩おいでよ 福岡市『絵本
ミュージアム』25日開幕」
- 2014.07.26 西日本新聞(朝)「絵本の旅へご招待 福岡市で特別
展開幕」
- 2014.07.27 西日本新聞(朝)「ふしぎなたび 絵本ミュージアムから(上)
お話の世界へ 想像の翼を広げて」
- 2014.07.30 毎日新聞(朝)「絵本1000冊集め催し 再現オブジェも
設置」
- 2014.08.01 西日本新聞(朝)「『ふしぎなたび』へGO! 心に想像の翼を
おいでよ!絵本ミュージアム」
- 2014.08.04 西日本新聞(朝)「博多川端商店街で『ふしぎなパレード』
手作りドレスで思い出づくり」
- 2014.08.04 西日本新聞(夕)「絵本ミュージアム 読書の喜び多彩に」
- 2014.08.07 朝日新聞(朝)「イイかも!絵本の世界 親子で楽しんで」
- 2014.08.10 西日本新聞(朝)「ふしぎなたび 絵本ミュージアムから(下)
新たな世界へ デジタルで遊ぼう」
- 2014.08.12 西日本新聞(朝)「入場者3万人突破 絵本ミュージアム」

関連放送

- 2014.07.25 TNCテレビ西日本 FNNスピーク
- 2014.07.25 TNCテレビ西日本 TNCスーパーニュース
- 2014.08.03 TNCテレビ西日本 FNNスピーク
- 2014.08.11 TNCテレビ西日本 TNCスーパーニュース

第5回福岡アジア美術トリエンナーレ2014
未来世界のパノラマ—ほころぶ時代のなかへ

PANORAMA OF THE NEXTWORLD: Breaking out into the Future



会期 2014年9月6日(土)～11月30日(日)
会場 福岡アジア美術館全館ほか周辺地域
主催 第5回福岡アジア美術トリエンナーレ実行委員会(福岡アジア美術館、西日本新聞社、TVQ九州放送)
後援 外務省、文化庁、参加各国駐日大使館、福岡市教育委員会
特別助成 公益財団法人石橋財団
助成 一般財団法人地域創造、芸術文化振興基金、公益財団法人ポーラ美術振興財団、公益財団法人花王芸術・科学財団、公益財団法人吉野石膏美術振興財団、公益財団法人野村財団、アジア・カルチュラル・カウンシル、公益財団法人福岡文化財団
協賛 博多リパレイン、積水ハウス(株)福岡マンション事業部、九州旅客鉄道(株)、(株)西日本シティ銀行、西部ガス(株)、(株)福岡銀行、西日本鉄道(株)、(株)九電工
協力 TSUTAYA、釜山ビエンナーレ組織委員会、NECディスプレイソリューションズ(株)、パナソニックシステムネットワークス(株)、吉原住宅(有)、スペースRデザイン、音楽塾ヴォイス
開催日数 74日間
観覧者数 26,005人(入場 19,896人、その他 6,109人)
出品点数 約150点
交流プログラム数 122件

福岡アジア美術館は開館15周年を迎え、その記念展となる「第5回福岡アジア美術トリエンナーレ2014(略称:第5回福岡トリエンナーレ、FT5)」を開催した。「福岡トリエンナーレ」は、福岡アジア美術館の継続的な調査研究や交流事業の成果と蓄積を生かして、3年ごとに、毎回異なるテーマでアジア21ヵ国・地域の美術の最新動向を紹介する国際美術展である。

第5回目となった今回は、従来のようにアジア新進作家の紹介を核としながら、映像、デザイン、メディア・アート等の領域を積極的にとりこみ、また福岡の美術・文化活動と連携を強めた。それによって、FT5は「福岡初・福岡発」の独自の国際展として、福岡を通してアジアの作家が国際舞台に飛躍していく機会を提供するとともに、アジアとの継続的な交流と協働によって福岡の文化を世界に発信していくことをめざした。

今回のテーマは、「未来世界のパノラマ—ほころぶ時代のなかへ」。厳選された新進の美術作家による絵画、彫刻、インスタレーション、映像などの作品を展示するとともに、アジアから作家を招聘して、共同制作、ワークショップ、パフォーマンスなどの交流プログラムを実施し、福岡の市民や芸術・文化関係者との交流の場を作り出した。さらに今回は、特定の地域・ジャンル等で見られる美術の新潮流を重点的に紹介するために、はじめて特別部門を設け、「モンゴル画の新時代—伝統から現代へ」を同時開催した。

ポスター B1、B2 PHUNK (カバーデザイン)、村上英峻(ペー
ジデザイン) / 久野印刷株式会社(印刷)
チラシ A3、4頁 PHUNK(カバーデザイン)、村上英峻(ペー
ジデザイン) / 久野印刷株式会社(印刷)
ガイドブック B5、66頁、和英 宮本寛(デザイン) / 久野印刷株式
会社(印刷)
完全記録集 A4変形、192頁、和英 宮本寛(デザイン) / 久野印
刷株式会社(印刷)

関連記事

2014.03.07 西日本新聞(朝) 「福岡トリエンナーレ、9月6日から」
2014.03.08 毎日新聞(朝) 米本浩二「トリエンナーレ『未来世界
のパノラマ』テーマ」
2014.04.03 毎日新聞(夕) 岸桂子「今夏 各地で国際芸術展
『新しい種まく契機に』横浜や福岡 意義明確に打ち
出す」
2014.04.08 朝日新聞(朝) 増田愛子「アート×地域活性 住民
と客つなぐ参加型の『作品』」
2014.04.30 西日本新聞(朝) 南陽子「5回目迎える福岡トリエン
ナーレ 『ヨコハマ』に参加」
2014.04.30 朝日新聞(夕) 西岡一正「人類の『忘却』テーマに
ヨコハマトリエンナーレ、札幌・福岡とも連携」
2014.05.13 日本経済新聞(朝) 「九州のチカラ 文化の発信地
—上— アジアと熱く交わる 展覧会や文化財修復」
2014.06.03 朝日新聞(朝) 山崎聡「ヨコハマ・福岡のトリエンナー
レ 競演 森村泰昌さん、狙い語る」
2014.06.17 西日本新聞(朝) 小川祥平「『福岡』も参加 ヨコハマ
トリエンナーレ 福岡アジア美術館先見性を高く評価」
2014.07 エヌオー (7.8月号) 「ルー・ヤン[陸揚] from上海 イ
ンタビュー」 pp.40-41
2014.07.01 西日本新聞(朝)「家入レオさん、イメージソング 福岡
トリエンナーレ」
2014.08 ふくたび(秋号)「イマ・現代アートが面白い!三好剛平
×黒田雷児」 pp.12-13

- 2014.08.19 日本経済新聞(夕) 「美術で街おこし福岡発世界へアジアトリエンナーレ来月開幕」
- 2014.08.30 読売新聞(福岡南かわらばん) 「春日の児童、外国芸術家と交流 ミャンマーのミンさんが工作教室」
- 2014.09 芸術新潮(9月号) 森村泰昌「ヨコハマトリエンナーレ奮闘記 横盗り物語」
- 2014.09 月刊ギャラリー(Vol.9、通巻353号)「Special Exhibition② 福岡から発信される独自の国際美術展」 pp.16-17
- 2014.09 女たちの21世紀(No.79) 「女たちの21世紀アートギャラリー」
- 2014.09 にしてつニュース(9月号) 「特集 アートでにぎわう街」 pp.01-02
- 2014.09.05 東洋経済日報 宮本初音「迷宮の向こうに未来がある 日韓混成チームで平和のアートを」
- 2014.09.06 産経新聞(朝) 「福岡トリエンナーレ開幕 家入レオさん曲披露」
- 2014.09.06 西日本新聞(朝) 「5年ぶりトリエンナーレ きょうから、福岡アジア美術館」
- 2014.09.06 朝日新聞(朝) 山崎聡「アジアの美 歌で彩り」
- 2014.09.06 日本経済新聞(朝) 「窓のコーナー、開会式」
- 2014.09.08 西日本新聞(朝) 南陽子「九州・沖縄の若手アーティスト発信 現代と切り結ぶ58人」記録集」発行」
- 2014.09.09 東京新聞(朝) 杉全美帆子「美を楽しむ 杉全美帆子のイラストでわかるアート散歩 ヨコハマトリエンナーレ2014」
- 2014.09.12 西日本新聞(朝) 「絵本『給食番長』の作者 博多弁で読み聞かせ よしながさんワークショップ」
- 2014.09.13 西日本新聞(朝) 「第5回福岡アジア美術トリエンナーレ2014広報担当 橋本淳子さん 新しい領域取り込み」
- 2014.09.13 西日本新聞(夕) 古瀬哲裕「この柱な～に? 街中にトリエンナーレ作品」
- 2014.09.13 朝日新聞(朝) 福原義春「福原義春の道しるべをさがして 芸術の祭りを楽しむ」
- 2014.09.14 毎日新聞(朝) 米本浩二「福岡アジア美術トリエンナーレ メディア・アートと無国籍性」
- 2014.09.15 神奈川新聞(朝) 熊谷和夫「『多様性発信したい』トリエンナーレ役割を考える 横浜で国際シンポ」
- 2014.09.18 長崎新聞 「福岡アジア美術トリエンナーレ 自由な表現楽しめる」
- 2014.09.18 読売新聞(朝) 白石知子「福岡アジア美術トリエンナーレ 土着性薄れ無国籍化」
- 2014.09.19 東京新聞(夕) 岡部あおみ「ヨコハマトリエンナーレ2014 一味違う作品選択」
- 2014.09.20 朝日新聞(夕) 山崎聡「勇気よ届けまっすぐに 家入レオさん」
- 2014.09.23 西日本新聞(朝) 「気鋭の作家 時代映す」
- 2014.09.27 西日本新聞(朝) 「福岡空港 一夜の大輪」
- 2014.09.28 西日本新聞(朝) 「人物現在形 台湾の映像作家 袁廣鳴さん <当たり前>をひっくり返す 体験的映像世界」
- 2014.10 サンデー毎日(10.5号)石川健次「Art Scene」p.121
- 2014.10 AVIVA(秋号、no.63)「アートのチ・カラ」pp.14-17
- 2014.10.04 朝日新聞(朝) 溝越賢「人口衛星落下か? アジア美術館で作品展」
- 2014.10.11 朝日新聞(夕) 山崎聡「アート?サブカル?福岡アジア美術トリエンナーレ2014」
- 2014.10.11 西日本新聞(夕) 「注目のモンゴル絵画も 福岡アジア美術トリエンナーレ」
- 2014.10.12 赤旗新聞 「最先端×アート ヨコハマトリエンナーレ 福岡アジア美術トリエンナーレ」
- 2014.10.13 西日本新聞(朝) 南陽子「アジアの『隅』を発見し『理解』を更新し続ける 福岡トリエンナーレの歩み『見たことのないものへの感動』……35年」
- 2014.10.17 産経新聞(朝) 宮下規久朗「欲望の美術史41 釜ヶ崎の表現意欲 プロにない異様な力」
- 2014.10.17 朝日新聞(夕) 青鉛筆のコーナー、バルコ展示
- 2014.10.20 西日本新聞(夕) 美術館コーナー、ミン・ティエン・ソンなど
- 2014.10.23 西日本新聞(朝) 大矢和世「ヨコハマトリエンナーレ2014 忘却にあらがう叫び」
- 2014.10.28 毎日新聞(夕) 岸桂子「福岡アジア美術トリエンナーレ『使命感』から解放」
- 2014.11 美術屋・百兵衛(秋、no.31) 「遠出したくなるアートイベント2014秋」 pp.168-169
- 2014.11 あいだ(217号) 江上賢一郎「『それぞれの近代』とどう向き合うか 再びアジアと合流するために」 pp.12-20
- 2014.11.05 朝日新聞(夕) 大西若人「評 第5回福岡アジア美術トリエンナーレ2014 激動の世界を『定点観測』」
- 2014.11.09 西日本新聞(朝) 南陽子「『終わりなき近代 アジア美術を歩く2009-2014』 黒田雷児さん さまざまな他者に会いたい」
- 2014.11.12 西日本新聞(朝) 中尾智路「未来への創造力④ 定点観測地 飛躍するアジアの美術」
- 2014.11.12 朝日新聞(夕) 大西若人「芸術祭 見つめ直す時 福岡・別府・国東…全国に急増」
- 2014.11.13 西日本新聞(夕) 五十嵐理奈「未来への創造力⑤ 滞在制作地 連携して生まれる新作」
- 2014.11.14 西日本新聞(朝) 山木裕子「未来への創造力⑥ 潮流中継地 若手が変革モンゴル画」
- 2014.11.15 図書新聞 「黒田雷児氏インタビュー (聞き手・細谷修平氏)『終わりなき近代』 抵抗としての近代」
- 2014.11.26 西日本新聞(朝) 「最優秀に舞踏教室の児童たち 福岡アジア美術館 観客参加型コンテスト」
- 2014.12.06 読売新聞(朝) 白山誠「アジア交流 厚みと広がりがクロニクル1964-2014」
- 2014.12 美術手帖(12月号、vol.66、no.1016) ダリル・ウィー「福岡アジア美術トリエンナーレにみる汎アジア的地域主義」 pp.152-161
- 2014.12 月刊ギャラリー (vol.12、通巻356号) 水間敏隆「モンゴル最新アート事情 第6回現代を吸収しながら未来へ向かうモンゴル美術」 pp.80-81
- 2014.12 文化(第188号) 原千波「『福岡アジア美術トリエンナーレ』開幕イベントに参加して」 p.15
- 2014.12.23 朝日新聞(朝)「中国文明の粹 故宮の逸品一堂に」
- 2014.12.25 毎日新聞(夕) 岸桂子「この一年 美術 世の風潮にあらがう」

- 2015.02.05 西日本新聞(朝) 南陽子「『地域連携さらに』福岡トリエンナーレ 次回展への展望探る」
- 2015.02.21 読売新聞(朝) 白石知子「『国』より『個』 作家自由に『地域主義』は揺るがず」

単行本

- 2014.10 黒田雷児『終わりなき近代 アジア美術を歩く 2009-2014』grambooks pp.188-191

外国語記事

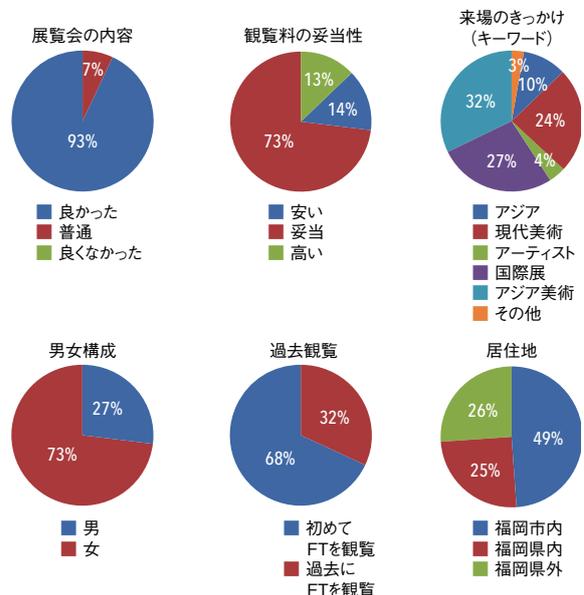
- 2014.05 “Special Feature – Fukuoka Asian Art Museum,” *Art in Culture*, pp.74-143 (韓国/韓国語)
- 2014.09 「面対『忘却之海』面対日本『内在的亞洲』—專訪橫濱三年展藝術總監森村泰昌」『ARTCO今藝術』no.264, pp.126-127 (台湾/中国語)
- 2014.09 黒田雷児「重拾世界的豐饒:具美術館專案計畫的福岡亞洲藝術三年展」『現代美術』No.174、臺北市立美術館、pp.18-24(台湾/中国語)
- 2014.09 “The 5th Fukuoka Asian Art Triennale 2014,” *Fukuoka Now*, #189, p.5(日本/英語)
- 2014.09 “12 Asian Biennales Unveiled in 2014,” *Art in Asia*, September – October, pp.55-57(韓国/英語)
- 2014.10 “Exhibition Reviews–Yokohama Triennale 2014,” *LEAP magazine*, September/October, pp.176-179(中国/中国語・英語)
- 2014.10 “Welcome to Korea! World Art People,” *Art in Culture*, p.115(韓国/韓国語)
- 2014.10 “Yokohama Triennale,” *ArtAsiaPacific*, November/December, Issue 91, pp.132-133 (香港/英語)
- 2014.10.07 Darryl Wee, “The 5th Fukuoka Asian Art Triennale,” *ART LOFT* (<http://artloftasia.com/blog/the-5th-fukuoka-asian-art-triennale/>) (シンガポール/英語)
- 2014.11 岩切滯「非正統的亞洲藝術視野 第五屆福岡亞洲藝術三年展」『ARTCO今藝術』no.266, pp.134-137 (台湾/中国語)
- 2014.11 “Fukuoka Asian Art Triennale,” *Monthlyart*, pp.176-181 (韓国/韓国語)
- 2014.11 Ellen Mara De Wachter “5th Fukuoka Asian Art Triennale & Yokohama Triennale 2014,” *Frieze*, November/December, Issue 167 (<http://www.frieze.com/issue/review/5th-fukuoka-asian-art-triennale-yokohama-triennale-2014/>) (イギリス/英語)
- 2015 Catherine Wilson “Brunei,” *ArtAsiaPacific Almanac 2015*, volume X, p.104 (香港/英語)
- 2015 “Festivals,” *ArtAsiaPacific Almanac 2015*, volume X, p.220 (香港/英語)
- 2015.01 Moynul Shaon “Yokohama Triennale 2014 - The Ultimate Book of the Inferno of History,” *Depart*, January/June, Volume 6, Issue 18, pp. 94-101 (バングラデシュ/英語)
- 2014.07 “From Asian Biennales – 5th Fukuoka Asian Art Triennale 2014 – An Interview with Raiji Kuroda,” *Article*, a journal of contemporary art, issue #36, pp.76-83 (韓国/韓国語)

関連放送

- 2014.09.05 FBS福岡放送 ニュース5ch
- 2014.09.05 NHK福岡放送局 熱烈発信!福岡NOW
- 2014.09.12 TVQ九州放送 TXNニュース
- 2014.09.14 NHK 日曜美術館
- 2014.09.19 FBS福岡放送 金曜トレビアン
- 2014.09.21 RKB毎日放送 今日感テレビ
- 2014.09.30 FBS福岡放送 ニュース5ch
- 2014.10.10 NHK福岡放送局 はっけんTV
- 2014.11.23 TVQ九州放送 TXNニュース

来場者アンケート

項目	FT5 (回答数 254)	FT4 (回答数 122)	差引 (FT5-FT4)	FT3 (回答数 148)	差引 (FT4-FT3)	
展覧会の内容	良かった	93.3%	87.6%	5.7ポイント	72.7%	14.9ポイント
	普通	6.7%	9.9%	△3.2ポイント	21.7%	△11.8ポイント
	良くなかった	0.0%	2.5%	△2.5ポイント	5.6%	△3.1ポイント
会場の雰囲気	良かった	91.4%	83.6%	7.8ポイント	-	-
	普通	5.4%	11.5%	△6.0ポイント	-	-
	良くなかった	0.0%	4.9%	△4.9ポイント	-	-
来場のきっかけ (キーワード)	アジア	10.1%	8.2%	1.9ポイント	-	-
	現代美術	23.7%	17.9%	5.8ポイント	-	-
	アーティスト	3.5%	0.7%	2.8ポイント	-	-
	国際展	27.2%	15.7%	11.6ポイント	-	-
	アジア美術	32.3%	38.8%	△6.5ポイント	-	-
	その他	3.1%	18.7%	△15.5ポイント	-	-
過去観覧	初めてFTを観覧	68.1%	68.4%	△0.3ポイント	80.3%	△11.9ポイント
	過去にFTを観覧	31.9%	31.6%	0.3ポイント	19.7%	11.9ポイント
観覧料の妥当性	安い	13.8%	22.5%	△8.7ポイント	27.9%	△5.4ポイント
	妥当	72.8%	68.5%	4.3ポイント	58.5%	10.0ポイント
	高い	13.4%	9.0%	4.4ポイント	13.6%	△4.6ポイント
年齢構成	20歳未満	15.8%	14.0%	1.8ポイント	10.1%	3.9ポイント
	20歳代	30.8%	29.8%	0.9ポイント	42.6%	△12.7ポイント
	30歳代	20.9%	21.1%	△0.1ポイント	16.2%	4.8ポイント
	40歳代	12.0%	16.7%	△4.7ポイント	16.9%	△1.6ポイント
	50歳代	9.0%	7.9%	1.1ポイント	9.5%	△1.6ポイント
	60歳代	8.1%	6.1%	2.0ポイント	3.4%	2.8ポイント
70歳以上	3.4%	4.4%	△1.0ポイント	1.4%	3.0ポイント	
男女構成	男	27.0%	24.0%	3.0ポイント	28.1%	△4.0ポイント
	女	73.0%	76.0%	△3.0ポイント	71.9%	4.0ポイント
居住地	福岡市内	49.2%	50.5%	△1.3ポイント	43.9%	6.5ポイント
	福岡県内	24.9%	27.0%	△2.2ポイント	23.6%	3.4ポイント
	福岡県外	26.0%	22.5%	3.5ポイント	32.4%	△9.9ポイント



第5回福岡アジアトリエンナーレ2014 特別部門 モンゴル画の新時代ー伝統から現代へ

会 期 2014年9月6日(土)～11月30日(日)
 会 場 交流ギャラリー
 主 催 福岡アジア美術館
 コーディネーター モンゴル画協会
 開催日数 74日間
 出品点数 25点

線描を主体に遊牧民の生活などを描いてきたモンゴルの伝統絵画「モンゴル画」の領域では、近年、これまでの伝統を大きく乗り越える革新的な新潮流が生まれている。現代の社会問題や女性の感性に注目するテーマや、ダイナミックな構図の実験は、伝統的で重厚な「モンゴルらしさ」のイメージを完全にくつがえすものである。本展は、この変化を牽引する新進気鋭の作家10人25点の作品で、現代の「モンゴル画」の魅力を日本で初めて紹介した。(第5回福岡トリエンナーレについては、6～8ページ参照)

アジアギャラリーでは、所蔵品を通し、アジア美術の近代から現代への流れを概観できるよう展示を行った。同ギャラリー内には、そのほかテーマごとに特設コーナーを設け、2～3ヶ月おきに展示替えを行った。平成26年度の特設コーナーで開催した展覧会は下記のとおりである。

カウントダウン、FT5！ー福岡トリエンナーレってなに？

2014年4月3日(木)～8月19日(火) ※6月4日(水)に展示替

「第5回福岡トリエンナーレ(FT5)」を目前にひかえ、第1回展(FT1、1999年)から第4回展(FT4、2009年)までを振り返った。各回を印象づけた作品を中心に、展示風景やパフォーマンスの記録、掲載記事などをダイジェストで紹介するほか、準備中の第5回展の最新情報も発表した。(FT1,2は4/3-6/3、FT3,4は6/5-8/19)

金属ぞくぞく大集合!

2014年4月24日(木)～8月19日(火)

自然素材から金属、化学素材へと、人類はこれまでの歴史のなかで様々な素材を発見・加工してきた。中でも金属の普及は、私たちの生活スタイルを飛躍的に変革してきたといえる。本展では、鉄、ブロンズ、ステンレスなど、金属を素材にした作品が大集合した。普段は意識しない素材から、作品に隠された意味を探っていった。

掲載記事

2014.05.11 西日本新聞(朝) 「金属ぞくぞく大集合」

冬のおとなミュージアム 「LOVE / 愛」 女神のささやき

2014年12月11日(木)～2015年2月24日(火)

福岡アジア美術館、福岡市美術館、福岡市博物館と同時期、同テーマでの初の共同企画展。今回のテーマは「LOVE」。この冬の期間に合わせて、アジアの様々な場所に由来する女神さまの作品を展示した。若く美しい女神に、ふくよかな母のような女神、恐ろしい顔をした女神さま、またはピンナップ・ポスターの中に登場する女神のように美しい女たちなど、多様性が垣間見られた。彼女達のささやくような声を手がかりに、「LOVE」への思索深まる展示となった。

○ギャラリートークリレー ～3つの愛のカタチ～

日時:12月13日(土)14時～15時

会場:アジアギャラリーA

※1月17日に福岡市博物館、2月14日に福岡市美術館でも実施

○『愛』の3館バスツアー

日時:2月7日(土)13時～18時

会場:旧福岡県公会堂貴賓館、福岡アジア美術館、福岡市美術館、福岡市博物館、福岡タワー

○福岡夜博コラボレーション企画 カクテルナイト

日時:2月19日(土)18時~20時

会場:アジアギャラリーA

主催:福岡夜博事務局

掲載記事

- 2014.12.05 朝日新聞(夕) 「カルチャー福岡 冬のおとなミュージアムLOVE / 愛 女神のささやき」
- 2015.01.10 読売新聞(朝) 「福岡・市美術館 市博物館 アジア美術館 『愛』テーマに共同企画展 3館回るバスツアーも」
- 2015.01.15 毎日新聞(朝) 末永麻裕「『愛』テーマに初の共同企画展 福岡市内3美術館 冬のおとなミュージアム」
- 2015.01.18 毎日新聞(朝) 平川哲也「初の共同企画展学芸員が案内ギャラリートーク 福岡市博物館・福岡アジア美術館・市美術館 興味深く聴き入る」
- 2015.03.10 朝日新聞(朝) 「LOVE / 愛」テーマに新機軸 福岡市立3館の合同企画展」

関連放送

- 2014.12.12 NHK福岡放送局 はっけんTV
- 2014.12.23 LOVE FM TENJIN UNITED

声なき Voice (こえ)

2014年12月11日(木) ~ 2015年3月24日(火)

わたしたちは社会的な生き物であり、何かを伝え、また理解することは、自身の生を営む上で欠かせない行為である。声はそのための身近なツールだが、その声が伝わらない、発せられないという状況も存在する。本展では、F.X.ハルソノ(インドネシア)の指文字を使った「声なき声」など、声をテーマにした作品を通して、社会的な対話のもどかしさにスポットをあてた。

掲載記事

- 2015.01.15 朝日新聞(朝) 「イイカモ! 福岡アジア美術館『声なきVoice(こえ)』展 静けさの中から弱者の声」
- 2015.02.05 毎日新聞(朝) 「福岡ぶらり出かけよう コレクション展 声なきVoice(こえ)」

わたしの村をめぐる物語

2015年2月26日(木) ~ 5月12日(火)

新収蔵作品「アウンコーの村」(ミャンマー)をはじめ、村の暮らしや故郷を題材とした作品を紹介。ノスタルジックな風景から、自ら生活する村のかかえる問題まで、作家の眼を通して近代化・都市化の中で変わりゆく村に着目した。

掲載記事

- 2015.02.23 西日本新聞(夕)「情報美術館 わたしの村をめぐる物語」
- 2015.04.25 読売新聞(朝)「アジアの美術家原点の故郷表現」

交流事業

本事業は、アジア各地で活躍する美術作家や研究者・学芸員等を福岡に招聘し、様々な美術交流事業をおこなうことで、市民がアジアの美術・文化に対する興味を高め、理解を深める一助となることを目指すとともに、アジア美術を取り巻く状況の活性化を目的としている。

本年度は、「第5回福岡アジア美術トリエンナーレ2015」の交流プログラムに参加する美術作家6人を招聘した。(平成26年度文化庁 文化芸術の海外発信拠点形成事業)

美術作家招聘事業



ミン・ティエン・ソン
(ミャンマー)

1978年生まれ
ヤンゴン(ミャンマー)在住
滞在期間:2014年7月3日～9月8日

□主な活動

①作品制作

子どもの頃に遊んだおもちゃを、布を使って大きく拡大させたインスタレーション「異界(馬)」の再構成と、「異界(戦車)」を制作した。

②ワークショップ

●7月31日

ワークショップ「ミャンマーのアーティストとおもちゃを作ろう!」
(春日ふれあい文化センター 夏休みこどもアートバスツアー)
参加者:春日市の小学4～6年生 30人
場 所:交流スタジオ

③トーク

●7月26日

「開幕間近! FT5よもやまプレトーク②」
参加者:一般63人
場 所:あじびホール

●9月7日

アーティストトーク
参加者:一般75人
場 所:企画ギャラリー、アジアギャラリー



メヘリン・ムルターザ
(パキスタン)

1982年生まれ
ラホール(パキスタン)在住
滞在期間:2014年8月6日～9月9日

□主な活動

①作品制作

直径2.4mのFRP製の球体から詠唱を発するインスタレーション「深宇宙天体」を地元の大学の教官や学生たちの協力を得て制作した。

②トーク

●8月23日

「開幕間近! FT5よもやまプレトーク③」
参加者:一般60人
場 所:あじびホール

●9月6日

アーティストトーク
詠唱パフォーマンス《口伝え》
参加者:一般75人
場 所:8階ロビー、アジアギャラリー





ペマ・ツェリン
(ブータン)

1985年生まれ
ティンブー（ブータン）在住
滞在期間:2014年9月11日～ 10月20日

□主な活動

①作品制作

自身が書きおこした原作をもとに、福岡のマンガ家と共同でマンガ本「Lama」をフルデジタルで制作した。また、博多リバレイン灯明で地上絵を制作した。

②ワークショップ

- 9月24日
「ブータンの物語をもとにした絵画制作」
参加者:屋形原特別支援学校 中学部、小学部生徒 5名
場 所:屋形原特別支援学校

③トーク

- 10月19日
アーティスト・トーク
参加者:一般68名
場 所:あじびホール

④地域交流事業

- 10月18日
「博多リバレイン灯明」
場 所:博多リバレイン フェスタスクエア



ジハン・カリム
(バングラデシュ)

1984年生まれ
チッタゴン(バングラデシュ)在住
滞在期間:2014年9月18日～ 10月28日

□主な活動

①作品制作

糸島市で開催された「糸島国際芸術祭2014 糸島芸農」に出品するために、福岡の映像作家、牧園憲二氏と共同で屋外インスタレーション「to C」を制作した。また、「博多リバレイン灯明」で、博多川にかかる橋の下にサイトスペシフィックな映像作品「通りから」を制作した。

②トーク

- 10月25日
アーティスト・トーク
参加者:一般63人
場 所:あじびホール

③作品展示

- 10月11日～ 19日
「糸島国際芸術祭2014 糸島芸農」福岡県糸島市 二丈松末地区
観覧者:一般392人

● 10月18日

- 「博多リバレイン灯明」
場 所:博多川岸
観覧者:一般1600人





ヤン・ヨンリアン／楊泳梁
(中国)

1980年生まれ
上海(中国)在住
滞在期間:2014年9月26日～11月10日

□主な活動

①作品制作

心の弱い剣士(=現代人のメタファー)を主人公にした映像作品「悪夢」を制作。福岡市内や近郊の海岸でのロケハン、剣士役のオーディションを経て、福岡市や糸島市等で撮影した。

②トーク

- 10月16日
アーティスト・トーク
参加者:九州大学芸術工学部 2年生 50名
場 所:アジアギャラリー
- 10月17日
アーティスト・トーク
参加者:九州大学芸術工学部 3年生 50名
場 所:あじびホール
- 11月9日
アーティスト・トーク
参加者:一般52人
場 所:交流スタジオ



コビール・アフメッド・マスム・チスティー
(バングラデシュ)

1976年生まれ
チッタゴン(バングラデシュ)在住
滞在期間:2014年10月14日～11月16日

□主な活動

①作品制作

小学生が描いた105枚の絵をつなげてアニメーション「昨日、私たちが一緒に見た夢」を制作した。また、映像インスタレーション「繭」を制作した。

②ワークショップ

- 10月17日
「《昨日見た夢》を絵にしよう!」
参加者:有田小学校 3年生 104名
場 所:あじびホール、彫刻ラウンジ
- 11月6日
「《昨日私たちが一緒に見た夢》の音を創ろう!」
参加者:千代小学校 6年生 39名
場 所:あじびホール、交流スタジオ
- 11月7日
「過去を変える!」
参加者:福岡教育大学附属福岡中学校 3年生 124名
場 所:福岡教育大学附属福岡中学校

③トーク

- 11月15日
アーティスト・トーク
参加者:一般51名
場 所:あじびホール

交流事業

2 受入支援事業

他の機関から助成等を受けて自費で福岡に滞在し、作品制作や調査研究を行うことを希望するアジアの美術作家やアジア美術の研究者・学芸員に対して、制作や調査活動を支援した。



ガン・チーシェン
(マレーシア)

1984年生まれ
クアラルンプール(マレーシア)在住
滞在期間:2014年5月29日～6月28日
大華銀行からの助成で来日。絵画作品の制作を行った。

①トーク

- 6月12日
参加者:和白丘中学校 1年生 298名
場 所:交流スタジオ



チェン・ホエウエン／鄭惠文
(台湾)

1986年生まれ
台北(台湾)在住
滞在期間:2014年10月1日～12月1日
台湾現代芸術基金会からの助成で来日。当館の招聘事業、展覧会事業等について研修した。

交流事業

3 地域交流事業

「博多リバレイン灯明」 (「第20回博多灯明ウォッチング2014」同時開催)

10月18日(土)18:00～21:00
場 所:博多リバレイン

博多リバレインが毎秋開催している「博多リバレイン灯明」に、美術作家招聘事業で滞在していたペマ・ツェリン(ブータン)が参加した。数千個の灯明をつかって、ブータンでは仏教を守護するといわれている神鳥ガルダとブータンの伝統的な文様を、博多リバレイン1階のフェスタスクエアに表現した。



◎団体見学

柳川市立蒲池中学校	2年生	11人	5月6日
唐津市立佐志中学校	2年生	75人	5月15日
北九州市立沼中学校	2年生	122人	5月30日(総合的な学習)
北九州市立石峯中学校	2年生	5人	6月10日(総合的な学習)
和白丘中学校	1年生	298人	6月12日(美術)
北九州市立思永中学校	2年生	52人	6月17日(総合的な学習)
原北中学校	1年生	227人	7月1日(総合的な学習)
宮若市立宮若西中学校	1年生	19人	9月11日
有田小学校	3年生	101人	10月17日(図工、総合)
北九州市立板櫃中学校	2年生	13人	10月17日
和白小学校	6年生	114人	10月23日(図工)
原小学校	6年生	115人	10月23日(図工)
南当仁小学校	6年生	109人	10月23日(図工)
元岡小学校	6年生	146人	10月28日(図工)
飯倉中央小学校	6年生	46人	10月30日(図工、国際理解)
柏原小学校	6年生	118人	10月30日(図工総合)
老司小学校	6年生	97人	10月30日(図工総合)
城原小学校	6年生	70人	10月31日(図工)
千代小学校	6年生	41人	11月6日
北九州市立本城中学校	2年生	29人	11月7日
北九州市立枝光中学校	1年生	22人	11月13日
西南学院小学校	6年生	63人	11月28日
博多小学校	3年生	125人	11月28日
朝倉市立金川小学校	5年生	22人	2月23日
北九州市立白銀中学校	2年生	29人	2月27日
北九州市立篠崎中学校	2年生	48人	3月3日
北九州市立企救中学校	2年生	16人	3月5日
北九州市立枝光台中学校	2年生	20人	3月10日
北九州市立南小倉中学校	2年生	6人	3月10日
南当仁小学校	4年生	110人	3月13日

◎職場体験学習

東福岡自彊館中学校	4人	5月30日
福岡雙葉中学校	5人	8月21、22日
那珂中学校	4人	8月27、28日
東住吉中学校	5人	9月9、10日
宮竹中学校	5人	9月9、10日
平尾中学校	5人	9月9～11日
警固中学校	3人	9月10、11日
片江中学校	3人	9月17、18日
当仁中学校	5人	10月1、2日
城西中学校	5人	10月15、16日

◎博物館実習

(5月から10月までの中で10日間程度)

福岡大学	1人
西南学院大学	1人
筑紫女学園大学	1人
九州産業大学	1人
福岡教育大学	1人
佐賀大学	1人

◎現場研修

東福岡特別支援学校	1人	1月19～23日
福岡中央特別支援学校	1人	1月19～23日

◎夏期インターンシップ

福岡女学院高等学校	1人	8月18～22日
福岡雙葉高等学校	1人	8月18～22日
筑陽学園高等学校	1人	8月25～29日

◎10年経験者研修(教員)

福岡県立玄洋高等学校	1人	7月29～30日
福岡県立福岡中央高等学校	1人	7月29～30日
千代小学校	1人	8月4～6日

心身の疾病や障がい、保護の必要性などの理由から来館自体が非常に困難な子どもたちを対象に、入院・入所する施設内で、ワークショップを行い、アジアの美術・文化に触れる機会を提供した。

□ワークショップ「ブータンの物語をもとにした絵画作品制作」

日 時:9月24日(水)13:50～15:50

講 師:ヘマ・ツェリン(ブータン)

参加者:屋形原特別支援学校中学部、小学部生徒5人

場 所:屋形原特別支援学校

美術館・博物館の役割である「出会いの場」「知識の場」「発見の場」をより多くの人々に知ってもらうため、5月18日の「国際博物館の日」を記念して福岡市内の11施設(福岡市博物館、福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡市埋蔵文化財センター、「博多町家」ふるさと館、はかた伝統工芸館、王貞治ベースボールミュージアム、九州大学総合研究博物館、九州産業大学美術館、西南学院大学博物館、三菱地所アルティアム)が連携し、5月17日から25日まで様々な催しを開催した。

福岡アジア美術館の催し

□講演会

森村泰昌トークショー
5月25日(土)14:00～15:30
参加者:一般156人
場 所:彫刻ラウンジ



森村泰昌トークショー

□ギャラリーツアー

5月19日(月)、20日(火)、22日(木)、23日(金)
参加者:一般24人
場 所:アジアギャラリー

□バックヤードツアー

5月18日(日)、24日(土) 15:00～16:00
参加者:一般60人
場 所:バックヤード



バックヤードツアー

□アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ

5月17日(土)、18日(日)、24日(土)、25日(日)
①11:30～12:00 ②13:30～14:00
参加者:未就学児と保護者95人

□滞在作家によるワークショップ

「不要品で等身大の人形を作ろう!」
5月17日(土)14:00～17:00
講 師:モハンマド・アリノミン・オムラリ(ブルネイ)
参加者:18名
場 所:彫刻ラウンジ



滞在作家によるワークショップ

□その他

- アジアギャラリー観覧料無料
- 参加館を巡るスタンプラリー
- カフェ、ショップでの割引サービス

ボランティア活動

9月～11月に開催した「第5回福岡アジア美術トリエンナーレ2014 (FT5)」を盛り上げるためにどのような活動をおこなうべきか、個人やグループで様々に考えながら活動をおこなった。また、FT5の観覧に訪れた熊本市現代美術館のボランティアと館内で交流会を催し、親睦を図りながら互いの活動について情報交換をおこなった。

活動内容およびグループ別のべ人数(一人が複数のグループで活動可)

平成26年4月現在

活動区分	活動内容	計
案内・解説	アジアギャラリーの作品解説や施設案内	68
図書資料	図書資料の整理・修理、配架	64
学芸資料	新聞記事のスクラップ、学芸関連資料の整理補助	53
展覧会情報	展覧会のチラシの整理、雑誌掲載記事の整理	21
広報	美術館広報誌や特別企画展などの印刷物の発送	29
読み聞かせ	絵本や紙芝居の読み聞かせ	30
活動支援	ボランティア向けブログの作成やメール配信、研修や親睦会の企画	14
交流	滞在美術作家・研究者の活動や地域交流イベントなどのサポート	223
	のべ人数	502
	ボランティア登録者数	223

活動

【案内・解説】

4月1日より活動開始。「おもてなしの心でお客様に喜びと感動を与えよう」を年度目標に、開館日の13:00～16:00に施設案内やアジアギャラリーの作品解説をおこない、団体や個人の見学希望者にも随時作品解説をおこなった。5月17日～25日の福岡ミュージアムウィーク期間中には、来館者向けに「ギャラリーツアー」を4回おこない、FT5の会期中には、団体見学を中心に作品解説をおこなった。毎月最終土曜日にグループ・ミーティングを開催した。

【図書資料】

4月1日より活動開始。おもな活動日である毎月10日と20日およびそれ以外の日に(毎月2日以上、1日につき2時間以上)活動をおこなった。「FT5特集展示」を年度目標に、FT5参加国・地域別に「これでわかる!アジ美図書ボランティアが集めたアジアアートは今!!ダイジェスト版」と銘打った地域別資料ファイルを21冊作成し、FT5来場者向けに図書閲覧室で公開した(好評につき年度末まで公開延長)。そのほか、昨年度に引き続き蔵書点検をおこなった。グループ・ミーティングを6回、親睦会を2回開催した。

【学芸資料】

4月5日より活動開始。「アジ美記事+トリエンナーレ関連記事のスクラップおよび発信。ボランティアの初心に戻り仲良く明るく活動しよう」を年度目標に、随時(毎月2日以上、1日につき2時間以上)活動した。当館の新聞掲載のスクラップだけでなく他館の展覧会関連記事やメンバーによる推薦記事などを切り抜いてボランティア室に掲示した。毎月16日にグループ・ミーティングを開催し、活動状況の確認や館の事業についての情報交換をおこなった。

【展覧会情報】

4月3日より活動開始。第1・3木曜日および第2・4土曜日を中心に活動をし、活動後には毎回ミーティングを開催した。「デジタル化活動の普及と促進。トリエンナーレのサポート活動への積極的な参加」を目標に、他館の展覧会情報(ハガキやチラシ)や当館の雑誌掲載記事のスクラップのデータ化をおこなった。FT5では彫刻ラウンジに福岡のアートやフード情報などを掲示したボードを設置したほか、滞在アーティストとの交流もはかった。

【広報】

4月8日から活動開始。今年度から月例ミーティングを開催した。特別企画展(2件)および広報誌「あじびニュース」(4件)の発送作業をおこなった。目標を「ホテル回りや近隣商店街などへの広報を強化」とし、「展覧会のご案内」をホテルに配布したほか、FT5のポスターやチラシなどを学生サポーターと一緒に商店街をはじめとする周辺の店をまわって設置を依頼するなどの広報活動をおこなった。

【読み聞かせ】

4月8日より活動開始。毎月第2・第4火・日曜日に活動をおこなった(各日2回開催)。「アジア美術館らしい読み聞かせを」を目標に、展示作品に関連した内容の絵本を選んだりアジアの絵本を必ず一冊以上入れるように心がけた。5月17日～25日の福岡ミュージアムウィーク期間中には、来館者向けに読み聞かせを実施し(8回)。さらに、7月25日～8月17日の「おいでよ!絵本ミュージアム2014」開催時には、毎火・日曜日に来場者向けに読み聞かせをおこなった(7回)。さらにFT5会期中には出品作家、よしながこうたくの絵本の読み聞かせをおこなった。7月8日、10月12日、2月10日にミーティングを開催したほか、自主勉強会なども積極的に企画しスキルアップをはかった。



図書ボランティアによる図書閲覧室の展示



展覧会情報ボランティアによる情報掲示板



「参加型研修会『FT5ボランティア・トーク』
—さっくばらんに語るボランティア活動—」

【活動支援】

4月12日より活動開始。「『全員参加のFT5』 FT5を軸につながるボランティアの大きな輪!」を目標に各グループの連携をはかった。連絡当番ミーティングの開催のほか、FT5支援のための参加型研修会の開催や、FT5の観覧で来館した熊本市現代美術館ボランティアとの交流会の企画、FT5参加アーティストの歓迎会やFT5クロージング・パーティーの開催などをおこなった。また、ブログで各グループの活動を紹介した。

(活動ボランティア主催の催事)

◇連絡当番ミーティング

4月12日、8月2日、2月28日

◇研修会

4月12日 「参加型研修会『FT5ボランティア・トーク』

一ざくばらんに語るボランティア活動一」(54人参加)

第1部:FT1～5概要説明(講師:黒田事業管理部長)、

第2部:グループディスカッション 初めてFTを経験する

メンバーに経験者が過去の体験談を話したり、FT5に

生かせるアイデアを出し合ったりした

2015年

3月28日 「インドネシアで考えたこと—古代壁画からデジタルアートまで」(66人参加)

講師:中尾智路 学芸員

◇歓迎会他

7月5日 ミン・ティエン・ソン歓迎会

11月30日 FT5クロージング・パーティ

◇ボランティア交流会

9月30日 熊本市現代美術館ボランティア17人、職員5人

福岡アジア美術館ボランティア16人、職員3人

FT5を観覧後、交流会で互いの活動を紹介し合った。

【交流】

4月26日、7月5日、8月2日に開催した交流ボランティア・学生サポーターミーティングで、FT5の概要やアーティストの活動についての話を聞き、CM撮影のエキストラ出演や滞在アーティストの作品制作の補助などをおこなった。7月25日～8月17日開催の「おいでよ!絵本ミュージアム2014」の会場で見守りや誘導をおこなった。また、10月18日に開催された「博多リバレイン灯明」の設置、撤収作業をおこなった。

□その他

◇総会 3月28日 会場:交流スタジオ

おもな議題:今年度の事業報告、グループ活動の報告、来年度の予定など

◇ボランティア向けギャラリー・トーク

アジアギャラリーの展示替えごとに担当学芸員がギャラリー・トークをおこなった(毎回2回)。

【学生サポーター】

「第5回福岡アジア美術トリエンナーレ2014 (FT5)」の交流プログラムを支援するため、大学、短期大学、専修・専門学校を対象に「FT5学生サポーター」を募集し、83人の学生が滞在アーティストの制作補助や広報などの活動をおこなった。

5月1日～6月7日 募集

5月31日、6月1日 説明会

6月14日、15日 グループ面談

7月3日 活動開始

12月10日 活動終了



熊本市現代美術館ボランティアとの交流会



FT5学生サポーター

あじびニュース



Vol.56 2014.4.1発行

- FT5全参加作家&テーマ決定!
- FT5開催概要発表。参加作家も登場!
- カウントダウン、FT5!
- 2014年度 年間スケジュール
- 金属ぞくぞく大集合!
- 2013年度 第Ⅲ期レジデンス・プログラム 報告
- 私の逸品—花田伸一さん
- 「福岡ミュージアムウィーク2014」開催
- 福岡アジア美術館インフォメーション2014年4月—6月



Vol.57 2014.7.1発行

- おいでよ! 絵本ミュージアム2014
- 私の逸品—池田成志さん(俳優)
- モンゴルに届いた、福岡の子どもの絵と想い
- 様々なコラボレーション! FT5に寄せる期待
- FT5いよいよ開幕!
- 福岡アジア美術館インフォメーション2014年7月—9月



Vol.58 2014.10.1発行

- FT5開幕!
- アーティストたちが語る作品への想い
- 私の逸品—FT5特別編—
- FT5交流プログラム・アーティスト滞在スケジュール
- FT5関連書籍、絶賛発売&予約受付中!
- 福岡アジア美術館インフォメーション2014年10月—12月



Vol.59 2015.1.1発行

- 女神のささやき
- 声なきVoice
- わたしの村をめぐる物語
- コレクション展がテーマ別展示に様変わり
- あじボラによって図書閲覧室の展示が一新!
- FT5アーティストたちがふりかえる、福岡の思い出
- 黒田学芸課長著書『終わりなき近代』好評発売中!
- ラウンチャイコン学芸員、國華図録賞受賞!
- チェン・ホエウエン／鄭惠文さん
- 私の逸品—田中千智さん(アーティスト)
- 展示も交流も、これ一冊で!
- 福岡アジア美術館インフォメーション2015年1月—3月

規格 A4 8ページ 企画・発行 福岡アジア美術館 編集 木下貴子(CXB)
デザイン 荻原晋一(n4g.jp) 和文英訳 ステファニー・オリ

リーフレット

平成27年度展覧会リーフレット

2015.3.31発行

- 展覧会のご案内2015年4月—2016年3月
- 交流ギャラリー
- レジデンス事業のご案内

企画

幅594×縦210mm(両面カラー・6つ折り)

企画・発行 福岡アジア美術館

デザイン 村上英峻

ホームページ

<http://faaam.city.fukuoka.lg.jp/>

コンテンツ

美術館について／基本理念、活動案内、施設概要、美術館ができるまで、アジア美術館の歩み

コレクション／収集方針、主な作品、所蔵品検索

美術館だより／最新トピックス、バックナンバー

利用案内／利用案内、交通案内、館内マップ、FAAM CAFE

出版物・グッズ／出版物・グッズ、展覧会図録ほか、広報誌、オリジナルグッズ、PDFデータ(事業報告書ほか)

展覧会案内／展覧会最新情報、スケジュール

イベント案内／最新のイベント、過去のイベント

レジデンス事業／今年度の滞在者、過去の滞在者、事業報告書、募集要項



所蔵作品

新所蔵作品数 H26年度

	購入	寄贈	合計
絵画	15	7	22
映像	2	3	5
合計	17	10	27

新所蔵作品一覧

- | | | |
|---|---|---|
| <p>1 バン・ジョンア
不適応と消化不良
1996
絵画 油彩・画布
48×113 韓国</p> | <p>6 ハア・セン(何森)
間次于筆《秋山烟靄》
2012
絵画 油彩・画布
200×250 中国</p> | <p>11 ガンドルジーン・オドバヤル
帝国の奮闘
2013
絵画 アクリル、テンペラ、
ラッカー・画布
150×160 モンゴル</p> |
| <p>2 シェン・ナー (沈娜)
つきることのない水
2012
絵画 油彩・画布
150×360 中国</p> | <p>7 デチェン・ロデル
幸せの証明書を探して
2011
映像 23分16秒 ブータン</p> | <p>12 バータリン・ニャムフー
晩
2012
絵画 テンペラ、水彩・綿布
110×140 モンゴル</p> |
| <p>3 ジャン・ヤー (張亞)
幽居につづく小徑 No.3
2012
絵画 アクリル・画布
150×150 中国</p> | <p>8 デチェン・ロデル
心のマンダラ
2013
映像 38分32秒 ブータン</p> | <p>13 シャラヴィン・タミル
冬
2013
絵画 水彩・綿布
67×42 モンゴル</p> |
| <p>4 ターメン(他們)
孤島一
2011-2012
絵画 アクリル・画布
100×250 中国</p> | <p>9 ガンボルディン・ゲレルフー
欲望
2012
絵画 水彩・画布
130×130 モンゴル</p> | <p>14 オノンギーン・ウルジンハンド
父の不在
2011
絵画 グアッシュ・綿布
70×84 モンゴル</p> |
| <p>5 ツァオ・ジンピン(曹敬平)
雲間に遊ぶ
2012
絵画 アクリル・画布
180×250 中国</p> | <p>10 チョジリジャヴィン・バーサンジャブ
熱
2013
絵画 アクリル、画布
97.0×130.3 モンゴル</p> | <p>15 ハグヴァジャヴィン・ホンゴルツォル
自由
2013
絵画 アクリル・画布
82×160 モンゴル</p> |



ガンボルディン・ゲレルフー
欲望
2012年
水彩・画布
130×130cm モンゴル



デチェン・ロデル
心のマンダラ
2013年
映像 38分32秒 ブータン

16 エンフバータリン・ナイダンドルジ
赤、青、黄
2013
絵画 アクリル、テンペラ・画布
180×420 モンゴル

17 オドフーギーン・アングラグスレン
輝く記念碑文
2014
絵画 アクリル、水彩・綿布
119.5×207.5 モンゴル

18 ヘイダル・アリ・ジャン
抜け目なく
2010
映像 アニメーション 1分
パキスタン(寄贈)

19 ヘイダル・アリ・ジャン
儀式
2010
映像 アニメーション 34秒
パキスタン(寄贈)

20 ルー・ヤン(陸揚)
子宮戦士:ゲーム版
2014
映像 ゲーム
中国(寄贈)

21 チョジリジャヴィン・バーサンジャブ
晴れやかな朝
2013
絵画 アクリル、画布
97.0×130.3 モンゴル(寄贈)

22 ジャン・ジャオホエ(張朝暉)
光と線
2013
絵画 水墨・紙
180×97 中国(寄贈)

23 キン・マウン
タウンジー風景
1974
絵画 水彩・紙
34.2×51.2 ミャンマー(寄贈)

24 キン・マウン
雨季の景色
1979
絵画 油彩・画布
56.0×86.8 ミャンマー(寄贈)

25 キン・マウン
中央ビルマ
1976
絵画 水彩・紙
37.3×55.8 ミャンマー(寄贈)

26 キン・マウン
風景
1976
絵画 水彩・紙
37.8×55.5 ミャンマー(寄贈)

27 キン・マウン
風景
1975
絵画 水彩・ボード
38.3×51.0 ミャンマー(寄贈)

※作品データは、以下の順で記載。
作者
タイトル
制作年
ジャンル 素材
サイズ(cm) 制作地

所蔵作品 2 貸出一覧

※平成26年(2014)年1月以降

①

貸出先:キランナダール美術館(インド)

展覧会:Is it what you think?

会 期:2014年1月29日～9月30日

貸 出:1点

作者	作品名
1 N.N.リムゾン	内なる声

②

貸出先:国立国際美術館

展覧会:郭徳俊 ニコッとシェー～1960年代絵画を中心に

会 期:2014年2月1日～5月11日

貸 出:1点

入場者数:54,259人

作者	作品名
1 クァク・ドツチュン(郭徳俊)	自画像 78

③

貸出先:三重県立美術館

展覧会:ア・テーブル!—ごはんだよ!食をめぐる美の饗宴—

会 期:2014年3月1日～5月6日

貸 出:1点

入場者数:7,516人

作者	作品名
1 ジュリー・ルーク	玉ねぎを切るたびに泣ける

④

貸出先:府中市美術館、兵庫県立美術館

展覧会:東京・ソウル・台北・長春—官展にみる近代美術

会 期:府中市美術館 2014年5月14日～6月8日

兵庫県立美術館 2014年6月14日～7月21日

貸 出:1点

入場者数:12,899人

作者	作品名
1 チェン・ジン(陳進)	サンティモン社の女

⑤

貸出先:台北市立美術館(台湾)
 展覧会:お尋ね者メイ・ディンイー回顧展
 会 期:2014年5月17日～8月17日
 貸 出:1点

作者	作品名
1 メイ・ディンイー(梅丁衍)	トロツキーに捧ぐ

⑥

貸出先:高雄市立美術館(台湾)
 展覧会:女性一家:アジア女性作家の感覚とビジョン
 会 期:2014年6月14日～9月23日
 貸 出:5点

作者	作品名
1 シャージア・シカンダル	SpiNN
2 エン・フェウチュウ(楊惠珠)	女性の役割
3 アスミナ・ランジット	髪ワープ:宇宙を編む旅
4 キムスージャ	演繹的オブジェ
5 ジョン・ジョンヨブ	祭り

⑦

貸出先:横浜トリエンナーレ組織委員会
 展覧会:ヨコハマトリエンナーレ2014
 会 期:2014年8月1日～11月3日
 貸 出:5点
 入場者数:76,105人

作者	作品名
1 デイン・キュー・レ	南シナ海ビシュケン
2 ヤスミン・コピール	葬儀
3 チェンジエレン(陳界仁)	工場
4 ハア・ユンチャン(何雲昌)	相撲—1対100
5 キム・ソンヨン	夜間飛行

⑧

貸出先:アーガー・ハーン美術館(カナダ)
 展覧会:着想の庭園—パキスタンの現代美術
 会 期:2014年9月1日～ 2015年1月18日
 貸 出:6点

作者	作品名
1 アイシャ・ハーリド	模様のある沈黙
2 アイシャ・ハーリド	沈黙
3 アイシャ・ハーリド	形×模様 #1
4 アイシャ・ハーリド	形×模様 #2
5 アイシャ・ハーリド	ビーナスの誕生
6 アイシャ・ハーリド	無題

⑨

貸出先:台北市立美術館(台湾)
 展覧会:陳順築回顧展
 会 期:2015年1月24日～ 4月26日
 貸 出:3点

作者	作品名
1 チェン・シュンチュ(陳順築)	家族水族館
2 チェン・シュンチュ(陳順築)	父と母
3 チェン・シュンチュ(陳順築)	父の愛人と母の家族

所蔵作品

3 修復一覧

作者	作品名
1 サンミン	コンピューター・コントロール・システム
2 フラトウ	家に帰る
3 フラトウ	ラングーン文理科大学と銀の月
4 ボウボウ	点灯、消灯、消滅
5 ジョゼフ・アンガンベルティ	アトリエ

所蔵作品 4 所蔵品等の掲載一覧

*以下、発行が確認されたものに限る。

2014 Jean Fisher, *The Triumph of Icarus: Life and Art of Rasheed Araeen* (Karachi: Millennium Media)

作者	作品名
1 ラシード・アライーン	ソネ・キ・チリヤ(黄金の鳥)
2 ラシード・アライーン	緑の絵画 No.2
3 ラシード・アライーン	たいした悲劇ではない

2014.6 『私たちの21世紀』no.78、特定非営利活動法人アジア女性資料センター

作者	作品名
1 ニルーファル・チャマン	結ばれるもの3

2014.12 田島奈都子「戦前上海印刷界の日中交流(戦前期上海の印刷業界における日中交流について)」
『圖像與商業文化—分析中國近代廣告』香港大学出版社

作者	作品名
1 ハン・ジン／ジン画室(杭穉英／穉英画室)	ピンクのスカーフの女性

2015.1 Sandy Ng, “Gendered by Design: Qipao and Society, 1911-1949,” *Costume*, no.1, vol.49

作者	作品名
1 作家不詳(上海ポスター)	インダンスレン布のポスター
2 ジン・メイション(金梅生)	インダンスレン布のポスター
3 ハン・ジン／ジン画室(杭穉英／穉英画室)	広生行ポスター

2015.3 石松紀子『イギリスにみる美術の現在—抵抗から開かれたモダニズムへ—』花書院

作者	作品名
1 ラシード・アライーン	緑の絵画 No.2

入館者数

年度別入館者数

年度別	開館日数	常設展	特別企画展	貸館展覧会等	合計	1日平均
10年度	22		22,250		22,250	1,011
11年度	242	38,530	149,395	70,336	258,261	1,067
12年度	309	66,421	118,677	106,529	291,627	944
13年度	302	29,632	15,330	186,987	231,949	768
14年度	301	45,472	71,375	40,452	157,299	523
15年度	307	56,623	167,353	64,827	288,803	941
16年度	305	39,828	37,815	81,015	158,658	520
17年度	294	42,679	107,203	90,714	240,596	818
18年度	307	53,872	69,007	96,847	219,726	716
19年度	309	45,501	81,972	88,543	216,016	699
20年度	307	50,719	67,797	142,131	260,647	849
21年度	286	35,740	111,635	77,814	225,189	787
22年度	307	40,820	57,272	83,921	182,013	593
23年度	311	62,267	57,101	150,081	269,449	866
24年度	313	66,876	54,893	188,001	309,770	990
25年度	311	54,509	204,388	84,587	343,484	1,104
26年度	288	39,412	61,915	141,305	242,632	842
累計	4,821	768,901	1,455,378	1,694,090	3,918,369	

月別入館者数

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	37,363	40,798	26,529	25,371	42,393	7,021	6,611	8,006	6,146	17,691	22,200	12,201	252,330

あじびホール月別使用状況

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	3	4	13	7	15	9	6	6	7	11	19	13	113
人数	251	263	710	774	1,871	1,008	435	299	466	791	1,827	1,003	9,698

あじびホール年度別使用状況

年度	別件数	人数
10年度	21	1,730
11年度	110	8,480
12年度	106	9,682
13年度	58	8,834
14年度	50	5,849
15年度	70	7,353
16年度	87	8,681
17年度	89	7,336
18年度	109	11,609
19年度	113	11,487
20年度	145	13,360
21年度	102	8,227
22年度	119	10,198
23年度	119	12,750
24年度	148	14,069
25年度	134	13,183
26年度	113	9,698
累計	1,693	162,526

あじびホール使用状況内訳

催物別	件数	人数
講演会	8	734
セミナー	3	234
アーティストトーク	9	746
ワークショップ	10	463
映画	32	3,645
演劇	10	971
音楽	4	370
落語	1	74
展示	17	1,226
その他	19	1,235
合計	113	9,698

常設展・特別企画展

展覧会名	開催期間	日数	計	1日平均	有料観覧者数				無料観覧者数
					一般	高・大	小・中	計	
常設展		214	39,412	184	5,168	1,056	0	6,224	33,188
特別企画展 おいでよ絵本ミュージアム2014	7月25日- 8月17日	24	42,019	1,750	16,002	495	5,198	21,695	20,324
特別企画展 第5回福岡アジア美術トリエンナーレ2014	9月6日- 11月30日	74	19,896	269	7,567	1,296	0	8,863	11,033
合計		98	61,915		23,569	1,791	5,198	30,558	31,357

貸館展覧会等 7階企画ギャラリー

展覧会名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
藤子・F・不二雄展	4月 1日～ 5月18日	41	52,567	生誕80周年を迎え、約270タイトルの作品を生み出し、5万枚の原稿を描き続けた藤子・F・不二雄の圧倒的な世界感を分かちあえる展覧会。
第22回アジア美術家連盟日本委員会展	5月22日～ 5月27日	6	1,272	12月(予定)にベトナムのハノイにおいて開催される第29回アジア国際美術展の出品作品を展示。
山本二三展	5月31日～ 7月 6日	33	26,339	数々の名作アニメーションで美術を手掛けて、30年以上、第一線で活躍し続ける山本さんの画業を背景画、スケッチ、イメージボードなど約200点で紹介する最大規模の個展。
第42回 日本の書展 九州展	7月10日～ 7月15日	6	1,470	現代書壇を代表する書家の秀作を、会派を超えて一堂で紹介。日本芸術院会員など、書壇の最高峰とされる巨匠15人をはじめ、代表作家や委嘱作家、各県からの選抜作家など計416点の作品を展示。
九州国展	12月11日～12月16日	6	740	毎年5月、国立新美術館で行われる「国展」の九州支部展で、今回で2回目となります。九州・山口・沖縄在住の国展出品者と新人75名の作品75点を展示致します。ジャンルは絵画、彫刻、写真、版画の4部門。
吉田成堂違墨書展	12月18日～12月23日	6	3,547	九州・山口を代表する近代詩文書の先導者として、地域に根ざした「書」に挑み続けた60年。あの身体から湧き出た九州の快男児の燃えるような作品群(超大作・大作・小作)約70点。また愛玩品も数十点展示。
北斎展 ～師と弟子たち～	1月 2日～ 2月15日	39	23,251	北斎は広重、歌麿、写楽などと並び江戸後期に活躍した浮世絵の巨匠の作品約190点を展示。北斎に影響を受けた弟子たちの作品も紹介。
2014アジアデジタルアート大賞展	2月19日～ 2月24日	6	1,406	「アジアデジタルアート大賞展」は、高度なメディアテクノロジーを背景に論理的な思考と芸術的感性との融合、さらにアジアの文化、風土に根差した世界レベルのメディアアート作品の公募展。
吉本統治と採光会7人の仲間達の写真展	2月26日～ 3月 3日	6	1,086	吉本統治は「インド・タージマハルと仏陀の聖地」を訪ねた(26年2月)ときの写真をA1サイズで34枚、採光会は7人の仲間が九州の自然を撮影したものをA1サイズで30枚展示。
アートスタジオアライヴ鉛筆画教室展	2月26日～ 3月 3日	6	1,663	鉛筆画教室の講師と生徒作品及び二科展出品の作品を約150展程展示。
イメージラボ写真教室 第15回作品展	3月 5日～ 3月10日	6	1,204	イメージラボ写真教室の受講生100人の作品展で15周年を記念した展示会。
浜田島～The Hamada Island III	3月13日～ 3月31日	17	4,866	ロックミュージシャンの浜田省吾と35年にわたりデザインと写真で関わり続けているグラフィックアーティストの田島照久が、写真、絵画、映像、立体と、あらゆる表現手段を駆使した150点以上の作品を展示。
合計		178	119,411	

貸館展覧会等 8階交流ギャラリー

展覧会名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
都市生活香一佐々木俊介自選[退職記念]展 since 1977	4月 1日～ 4月 1日	6	365	テーマを概ね等身大の生活環境・日常生活・都市生活者とし、これまでストックしてきた作品より40点程度を選定し展示。
江海・龍展	4月 3日～ 4月 8日	6	503	龍をテーマに700年前の中国永楽宮の技術と水晶、金箔などの画材を用い描いた龍の絵画約30点を展示。
いずみハート展	4月10日～ 4月15日	6	761	福岡養護学校の時から描き始めた阿部いずみ氏の作品、水彩画・アクリル画30点を展示。
キルトショップANNE パッチワーク・リボン刺しゅう作品展	4月17日～ 4月22日	6	434	パッチワーク専門店併設の教室、カルチャーセンター教室、福岡市退職者協議会東部支部パッチワークサークルとのパッチワーク・リボン刺しゅうの合同作品展。バッグ、タペストリーなど120点を展示。
五島亜希子の世界カルチャー展	4月24日～ 4月29日	6	655	天極縫い、刺しゅうで創ったタペストリー、テーブルセンター、バッグ、アクセサリ、小袋を展示。
太田宏介の世界	5月 1日～ 5月 6日	6	619	自閉症の障がいを持つ太田宏介氏の絵画展。
第8回ひと葉の会日本画展	5月 8日～ 5月13日	6	1,218	NHK文化センターとJEUUGIAカルチャーセンター教室で学ぶ会員の作品絵画、日本画約30点を展示。
陳世憲+張文燦二人展(書道・写真)	5月15日～ 5月20日	6	550	書家陳世憲氏の作品35点と写真家張文燦氏の写真20点を展示。
Hawaiian Quilt Stadio Hale U'ilani ハワイアンキルト展	5月22日～ 5月27日	6	1,370	ハワイアンキルトの技法で教えるハワイアンキルト教室の福岡クラスの生徒の作品で、ポーチ、バッグ、タペストリー、ベッドカバーなど約150点を展示。
第14回福岡江古田会アート展	5月29日～ 6月 3日	6	666	日本大学芸術学部を卒業した福岡県出身者、または在住の公有で組織された親睦会「福岡江古田会」の作品展。展示。
カルチャースクール セ・マ・フェット展覧会～私の宝物～	6月 5日～ 6月10日	6	826	カルチャースタジオ セ・マ・フェットで学ぶ仲間25名と色鍋島絵付の伝統工芸士前田清峰他8名とフラワーペイントの吉川栄子他5名の作品を展示。
書のとぎめき展'14・・・一墨会&井上一光	6月12日～ 6月17日	6	1,108	中国古代文字である甲骨文、金文を主なモチーフとした現代書の創作作品展。
廣末勝巳・原泰樹 二人展	6月19日～ 6月24日	6	532	平面作品F40～F200を40点展示。
刀匠～天明から平成へと受け継がれる技と魂～	6月26日～ 7月 1日	6	1,137	1786年(天明6年)から現代へと受け継がれる刀匠一家を撮影した4年間の作品を展示。
李小澄水彩画展	7月 3日～ 7月 8日	6	1,253	中国の画家 李小澄氏の水彩画を100点展示。
第42回日本の書展 九州展	7月10日～ 7月15日	6	1,409	日本を代表する書家と九州・山口・沖縄在住の書家の作品を展示。
九州と中国 芸術展	7月17日～ 7月22日	6	1,097	九州で活躍している芸術家の絵画、写真、書の作品を展示。
楊勇当代山水表現展	7月24日～ 7月29日	6	1,323	楊勇氏の水墨画50点を展示。
蔚山大学校デザイン大学2014年度卒業作品優秀作品展 展示会	7月31日～ 8月 5日	6	625	韓国蔚山大学校デザイン大学の2014年度の卒業制作の中で優秀な作品を展示。
福岡インディペンデント映画祭2014(FIDFF2014)	8月 7日～ 8月12日	6	393	国内・海外の映像製作者の発表と交流、育成を目的にインディペンデント映像作品を上映。
児童絵画展	8月14日～ 8月19日	6	341	福岡県内の2年生を対象に「わたし(ぼく)と先生」という画題で募集し優秀な作品を展示。
中郷芸術研究院6人展	12月11日～12月16日	6	884	中国を代表する現代作家6人の絵画水墨と書道先品36枚を展示。
福岡市人権尊重作品展	12月18日～12月23日	6	867	福岡市人権尊重週間行事の一環として市民から公募した人権尊重に関するポスター(絵画)、標語、絵手紙の入選作品を展示。
九州産業大学写真映像学科柴田ゼミナール写真展	1月 8日～ 1月13日	6	838	ゼミナール生が日頃から撮影し、各々の美を追究し研ぎ澄まされた写真作品を100点展示する。また海洋写真の第一人者である柴田も出展。
第13回 福岡市立高等学校合同文化発表会	1月15日～ 1月20日	6	694	福岡市立高等学校(福翔、博多工業、福岡女子、福岡西陵)の生徒達が制作した作品を展示・発表。
九産大 造形・彫刻コース合同作品展	1月22日～ 1月27日	6	1,473	九州産業大学芸術学部美術学科造形・彫刻コースの学生と非常勤講師、大学OB、専任の作品を合同で展示。
平成26年度 博多区文化・芸術展	1月29日～ 2月 3日	6	1,201	博多区に在住又は通勤・通学している人が応募した、絵画、写真、書、グラフィックデザインの作品を展示。
Ken Do Works 2014卒展	2月 5日～ 2月11日	7	505	近畿大学産業理工学部建築・デザイン学科の学生の卒業設計・制作の作品展。グラフィック系作品3点、実物家具5点、建築設計20点程度を展示。
福岡デザイン専門学校 第17回卒業制作展+アジア デザイン交流展	2月13日～ 2月17日	5	885	福岡デザイン専門学校の第17回卒業制作の展示と、提携校である台湾の国立彰化師範大学附属高級工業職業学校、華夏技術学院の作品を展示。
九州産業大学芸術学部芸術研究科卒業制作秀作展	2月19日～ 2月24日	6	1,599	九州産業大学芸術学部芸術研究科の卒業制作で、洋画・日本画・染織約10点、彫刻・陶芸・金属工芸約5点、ビジュアルデザイン・プロダクトデザイン・空間デザイン約20点を展示。
博多織デベロップメントカレッジ卒業作品展	2月26日～ 3月 3日	6	2,280	第8期生及び研究生の卒業作品を展示。
日韓女性交流写真展 2015	3月 5日～ 3月10日	6	614	日本の作品13点、韓国の作品27点の写真を展示。
福岡教育大学大学院修了展	3月12日～ 3月17日	6	521	絵画12点、立体作品5点、書10点を修了展として展示。
石川幸二退職記念展	3月19日～ 3月24日	6	2,150	石川幸二氏の退職を記念した作品展。
The Root Of Love～モザイクアートで笑顔を広げよう～	3月26日～ 3月31日	6	448	集めた写真6万枚を使って20枚のモザイクアートを作成し展示。
合計		205	32,144	

2014年

- 5月17日 福岡ミュージアムウィーク2014開催
(5月25日まで)
- 5月29日 美術作家ガン・チーシェン氏来館
(6月28日まで滞在)
- 7月3日 招聘美術作家ミン・ティエン・ソン氏来館
(9月8日まで滞在)
- 7月25日 おいでよ!絵本ミュージアム2014開催
(8月17日まで)
- 8月6日 招聘美術作家メヘリーン・ムルターザ氏来館
(9月9日まで滞在)
- 9月6日 第5回福岡アジア美術トリエンナーレ2014開催
(11月30日まで)
- 9月11日 招聘美術作家ヘマ・ツェリン氏来館
(10月20日まで滞在)
- 9月18日 招聘美術作家ジハン・カリム氏来館
(10月28日まで滞在)
- 9月24日 とびだせ!アジア美術館(屋形原特別支援学校)
- 9月26日 招聘美術作家ヤン・ヨンリァン氏来館
(11月10日まで滞在)
- 10月1日 研究者チェン・ホェウエン氏来館
(12月1日まで滞在)
- 10月14日 招聘美術作家コビール・アフメッド・マスム・チスティール氏来館
(11月16日まで滞在)
- 11月24日 美術資料収集審査委員会議

活動記録 [調査研究活動]

黒田雷児

【展覧会企画】

2014.08.01～11.03 ヨコハマトリエンナーレ2014「第10話 洪水のあと」(福岡アジア美術トリエンナーレ)、新港ピア(横浜)

【執筆】

2014.05 「アジア美術、『グローバル・スタンダード』はない、『アート・イン・カルチャー』(執筆によるインタビュー、韓国語)、pp. 134-143
2014.09 「世界の豊饒をとりもどすために 美術館企画展としての福岡トリエンナーレ」、『現代美術』174、台北市立美術館、pp. 18-24(中国語)
2014.10 『終わりなき近代 アジア美術を歩く2009-2014』、grambooks(東京)(単行本)
2014.12.11/21 「2014年の美術界を回顧する 恒例年末アンケート」、『新美術新聞』

【講演等】

2014.06.13 「福岡アジア美術館の活動における『アジア』『美術』『交流』」、「WHOMEN—アジア女性作家の名において」展のアジ美所蔵作品についてのギャラリートーク、高雄市立美術館(台湾)
2014.07.26 開幕間近! FT5よもやまブレストーク第2回「作品、テーマ、一体どうなる!? ～あじび紛糾編」、福岡アジア美術館
2014.09.28 学芸員によるギャラリートーク②(第5回福岡トリエンナーレ)、福岡アジア美術館
2014.10.14 ヨコハマトリエンナーレ2014国際シンポジウム 国際展で考える「現代アートと世界／地域との関係」、横浜美術館
2014.11.01 「第5回福岡アジア美術トリエンナーレ」(出前講座)、博多織デベロップメントカレッジ(福岡)
2015.01.24 トークセッション:FT5をふりかえる!、福岡アジア美術館
2015.03.28 「新曲のリハーサル 想像されたアジアにおけるアジアの美術館のコラボレーションの問題」、NEXT Salon韓国(釜山)

【その他】

2014.02&09 韓国国立現代美術館・SBS財団「今年の作家」審査員
2014.12 九州産業大学芸術学部非常勤講師

ラワンチャイクン寿子

【展覧会企画】

2015.02.26～05.12 コレクション展「わたしの村をめぐる物語」、福岡アジア美術館

【執筆】

2014.06.15 「官展にみる近代美術」展対談、『インパクション』195号、pp. 110-124

【講演等】

2014.06.14 企画学芸員によるギャラリートーク(東京・ソウル・台北・長春一官展にみる近代美術)、兵庫県立美術館
2014.09.21 「東京・ソウル・台北・長春一官展にみる近代美術」展を振り返って、イメージ&ジェンダー研究会例会、上智大学(東京)
2014.10.04 学芸員によるギャラリートーク③(第5回福岡トリエンナーレ)、福岡アジア美術館
2014.10.21 「わの会講座 裏までみせます!第5回福岡アジア美術トリエンナーレ2014」、福岡アジア美術館

【その他】

2014.04～2015.03 九州藝術学会幹事・『デアルテ』編集委員
2014.10.23 「東京・ソウル・台北・長春一官展にみる近代美術」展により國華展覧会図録賞受賞
2015.03.17 平成26年度福岡市職員表彰(「東京・ソウル・台北・長春一官展にみる近代美術」展)

中尾智路

【展覧会企画】

2014.04.03～06.03 コレクション展「カウントダウン、FT5!—福岡トリエンナーレってなに?【前編】」、福岡アジア美術館
2014.04.24～08.19 コレクション展「金属ぞくぞく大集合!」、福岡アジア美術館
2015.01 文化庁海外メディア芸術祭等参加事業「クリプトビオシス:世界の種」展企画ディレクター、スラサール・スナリオ・アート・スペース(インドネシア・バンドン)

【執筆】

2014.11.12 西日本新聞(朝) 中尾智路「未来への創造力④ 定点観測値 飛躍するアジアの美術」

【講演等】

2014.06.28 開幕間近! FT5よもやまブレストーク第1回「参加作家を求めて～アジア放浪編」、福岡アジア美術館
2014.07.26 開幕間近! FT5よもやまブレストーク第2回「作品、テーマ、一体どうなる!? ～あじび紛糾編」、福岡アジア美術館
2014.09.20 学芸員によるギャラリートーク①(第5回福岡トリエンナーレ)、福岡アジア美術館

【その他】

2014.06～09 佐賀大学文化教育学部非常勤講師
2014.09 第18回文化庁メディア芸術祭アート部門選考委員
2014.10 第39回宮崎市美術展平面部門審査員

五十嵐理奈

【展覧会企画】

2014.06.05～08.19 コレクション展「カウントダウン、FT5！ー福岡トリエンナーレってなに？【後編】」、福岡アジア美術館

2014.12.11～2015.02.24 コレクション展「冬のおとなミュージアム『LOVE/愛』 女神のささやき」、福岡アジア美術館

【執筆】

2014.09 「ベンガルのカンター祝いの日と、なんでもない毎日に」、『民藝』741号、pp. 22-28

2014.11.13 西日本新聞(夕) 五十嵐理奈「未来への創造力④ 滞在制作地 連携して生まれる新作」

2014.12 「ニルファル・チャマンのいる自由な家ーバンラデシュの港町チッタゴンの美術」、『私たちの21世紀』No.80、pp. 60-61

2015.03 「ワールドニュース 昌原」、『美術手帖』、pp. 196

【講演等】

2014.06.28 開幕間近! FT5よもやまプレトーク第1回「参加作家を求めて～アジア放浪編」、福岡アジア美術館

2014.10.26 学芸員によるギャラリートーク④(第5回福岡トリエンナーレ)、福岡アジア美術館

2014.11.02 東京都現代美術館開館20周年事業シンポジウム「歴史の配合」関連討論会、東京都現代美術館

2014.10.18 アートマネジメントセミナー(福岡市文化芸術振興財団主催)「芸術祭と企画すること『芸術祭と新しくかかわる』」、福岡市赤煉瓦文化館

2014.10.30 「バンラデシュ・アートの先駆者たち: Britto Arts Trust」、art space tetra(福岡)

2015.03.18 「暮らしに生きるカンター人と技」「ベンガルのたなごころ カンタ 彼女たちの針仕事」展 関連トークイベント2』、Atelier MUJI(東京)

松浦仁

【講演等】

2014.11.29 学芸員によるギャラリートーク⑦(第5回福岡トリエンナーレ)、福岡アジア美術館

山木裕子

【執筆】

2014.11.14 西日本新聞(朝) 山木裕子「未来への創造力⑤ 潮流中継地 若手が変革モンゴル画」

【講演等】

2014.08.23 開幕間近! FT5よもやまプレトーク第3回「無事開催できるのか?直前情報!～あじび激闘編」、福岡アジア美術館

2014.11.22 学芸員によるギャラリートーク⑥(第5回福岡トリエンナーレ)、福岡アジア美術館

【その他】

2014.10.～2015.03 福岡女子大学非常勤講師(アジアの現代文化)

蒲池昌江

【その他】

2014.09.～2015.01 中村学園大学教育学部非常勤講師(アートワールド)

【講演等】

2014.08.23 開幕間近! FT5よもやまプレトーク第3回「無事開催できるのか?直前情報!～あじび激闘編」、福岡アジア美術館

2014.12.09 アクロス福岡で、「ふくおか文化ボランティアフォーラム2014 ボランティアが活きる“ツボ”とは!」事例報告

柏尾沙織

【展覧会企画】

2014.06.5.～08.19 コレクション展「カウントダウン、FT5！ー福岡トリエンナーレってなに？【後編】」、福岡アジア美術館

2014.12.11～2015.03.24 コレクション展「声なきVoice(こえ)」、福岡アジア美術館

【講演等】

2014.08.23 開幕間近! FT5よもやまプレトーク③(第5回福岡トリエンナーレ)、福岡アジア美術館

2014.10.18 アートマネジメントセミナー(福岡市文化芸術振興財団主催)「芸術祭と企画すること『芸術祭と新しくかかわる』」、福岡市赤煉瓦文化館

2014.11.01 学芸員によるギャラリートーク⑤(第5回福岡トリエンナーレ)、福岡アジア美術館

福岡アジア美術館美術資料収集審査会委員

水 沢 勉	神奈川県立近代美術館長
後 小 路 雅 弘	九州大学大学院人文科学研究院教授
後 藤 新 治	西南学院大学教授
ソボン・ロドボン	チェンマイ大学美術学部准教授(タイ)

福岡市美術館協議会委員(福岡アジア美術館を含む)

会 長	後 藤 新 治	西南学院大学国際文化学部教授
副会長	龍 秀 美	秀巧社印刷株式会社クリエイティブディレクター
委 員	榊 島 穰	和白東小学校校長
〃	田 畑 弘 行	元岡中学校校長
〃	古 川 彰	博多工業高等学校校長
〃	木 内 潤 子	福岡市社会教育委員
〃	坂 田 美 和 子	福岡市PTA協議会副会長
〃	藤 本 昌 代	(公社)福岡市老人クラブ連合会理事
〃	渡 邊 敬 一	福岡市青少年団体連絡会議理事
〃	植 野 か お り	立花家史料館館長
〃	後 小 路 雅 弘	九州大学大学院人文科学研究院教授
〃	宇 田 川 宣 人	アジア美術家連盟日本委員会日本代表
〃	榊 晃 弘	福岡市美術展運営委員長
〃	友 添 泰 典	(公社)福岡県美術協会理事長
〃	原 田 真 紀	ママとこどものアートじかんプロジェクト代表
〃	深 野 治	「西日本文化」編集長
〃	藤 枝 守	九州大学大学院芸術工学研究院教授
〃	室 岡 祐 司	九州産業大学商学部観光産業学科講師

福岡アジア美術館職員

館長	村上	廣志
副館長	白石	伸彦
事業管理部長	黒田	雷児
管理課長	若山	信久
管理係長	大庭	かおる
事務職員	川野	寛
事務職員	小島	美香
事務職員	井上	拓也
嘱託員	矢野	隆俊
嘱託員	本田	タカ子
学芸課長	黒田	雷児
収集展示係長	ラワン	チャイケン寿子
学芸員	五十嵐	理奈
学芸員	中尾	智路
交流係長	松浦	仁
学芸員	山木	裕子
嘱託員	渡利	直弘
嘱託員	蒲池	昌江
嘱託員	大野	和則
嘱託員	柏尾	沙織
嘱託員	橋本	淳子

